

上小だより

上牧町立上牧小学校
学校通信
令和2(2020). 5. 28
No.2

「久しぶり～」の笑顔で登校



新型コロナウイルス感染拡大防止による緊急事態宣言を受け、子どもたちには1ヶ月間まったく登校してもらっていませんでした。先日、なんとか宣言が解除されましたので、まだ学校再開による一斉登校ではありませんが、21・22日、本当に久しぶりに子どもたちが登校してきてくれました。臨時登校であり、本来の全員が一斉にそろった形にはなっていませんが、学校に元気な子どもたちの楽しそうな声が響いていました。なかでも新1年生は4月9・10日以来の登校に、ドキドキ緊張した様子でしたが、大きなランドセルを背負って、きちんとマスクを着用し、高学年と一緒に一生懸命に歩いていました。



子どもたちが登校してきてくれた日の放課後は、町教育委員会の指導のもと、ドアノブやスイッチ、手すりなどを消毒液(次亜塩酸ナトリウム)で消毒しています。そして子どもたちにも、こまめな手洗い、うがい、マスク着用、お友だちにあまり近づきすぎない、大きな声でお話しないなど、出来る範囲で予防に努めてもらっています。一時期のことを思えば、感染拡大はかなり収束しつつあるように感じますが、まだまだ油断はできません。みんなで力を合わせ、一人ひとりが「自分の命は自分で守る」ことを大切にして取り組んでいきたいと思っています。

2020年度の学級編制について

本年度の学級編制等については、次のようになりました。

1・2年生は、国および県教育委員会からの教員配置で、35人学級編制を実施しました。また、本年度も県教育委員会から1人の少人数指導教員と1人の人権教育推進教員が加配されました。

6年生は、昨年度に引き続き県の少人数加配を活用して、国の基準である2学級編制を少人数学級編制の3学級編制にして、きめ細かい指導に取り組むことにしました。

5年生も、県の特別加配によって、国の基準である2学級編制を少人数学級編制の3学級編制にして、取り組むことにしました。

さらに、昨年度に引き続き、生徒指導・少人数指導が非常勤で配置されました。

また、町教育委員会より、ALT(外国語指導)、そして特別支援教育支援員が1人増員となり、計5名配置していただきました。

これらの学級編制等は、単年度措置の教員配置ですので、本年度のみの体制であることをご理解ください。

上牧小学校 ビジョン2020

学校教育目標

奈良県教育委員会及び上牧町教育委員会より示された学校教育の指導方針の趣旨にそって、学校・家庭・地域が協働して、人権尊重の精神を基盤に、社会の変化に主体的に対応でき、自ら学び、心身ともにたくましく生きる児童を育成する。

研究主題

「自らの生き方をつくる子」の育成をめざして
～「学び合い」と「問題解決型の人権教育」を両輪として～

「かん・ま・き・の子」と3つのスローガン

「かん・ま・き・の子」・・・「かん」・・・感性豊かで優しい心を持つ子
「ま」・・・学び合い助け合いの態度がとれる子
「き」・・・規律ある自律した行動ができる子

3つのスローガン

すすんであいさつ・・・あいさつは、人と人をつなぐ架け橋言葉。
やさしさいっぱい・・・やさしさは、困っている人、悩んでいる人がいたら、そっと寄り添える心、喜んでくれる人と一緒に喜ぶ心。やさしさは、自分も他人も大切にする心をはぐくむ。
しっかり自律・・・自律とは、自分で考え判断し、自分の意志で行動し、その責任も負う態度や心の働き。

めざす学校像

安心・安全な環境と家庭・地域と協働する学校
・児童にとって安心・安全な学校生活を確保するために、地域・家庭と連携した危機管理体制の確立

一人一人の教職員の自律性と協力協働する学校
・全教職員が同僚性を大切にして、個性豊かに創意工夫と共通理解・協力を図りながら、教育活動を推進

「学びの共同体」としての学校
・「学び合う学習」の授業改革に取り組むとともに、地域・保護者が参画した授業や行事を創造

人権が尊ばれる学校
・人権教育は総合的な教育活動であり、すべての教育の基本と捉え、人権が尊重される学校文化の確立に向けた実践

本校では、本年度の学校ビジョンを上記のように明らかにし、1年間取り組んでまいります。地域・保護者のみなさまのご支援をいただきながら、「3つのスローガン」のもと、教職員一同力を合わせ、子どもたちが安心して生き生きと過ごせる学校を目指してまいりますので、どうぞ協力いただきますようお願いいたします。